



ベジ田トマジ

トマト栽培一筋30年。トマトのことなら何でも知っている、トマト大好き生産者。



安全いちろー

父からの指令により、地球で「食の安全」について学ぶことになった宇宙人。地球では、コープネットの商品検査センターの職員として、日々、奮闘している。

レッツコミニ!

レッツコミニケート! 食の安全

「農薬」って必要なの?

こんにちは。「レッツコミニケート! 食の安全」略して「レッツコミニ」です。今回のお題は「農薬」。皆さん、農薬と聞いて「ドキッ」として、無農薬と聞いて「ニコッ」としませんか? そんな思いを抱きながら、安全いちろーは商品検査センターの研修で、トマト農家「ベジ田トマジさん」の畑を訪問しました。



いちろー 農薬は何のために使っているの?

トマジ トマトを病気や害虫の被害から守ったり、農家の手間を軽くすることができるとだよ。

いちろー でも、使わない方がいいんじゃないよ? みんなイヤがってますよ。

トマジ もちろん、使わない方がいい。そのために大切なのは「土作り」。土がしっかりしていれば、病気に強い元気なトマトが育つんだ。そうすれば、農薬を使う量を減らすことができるからね。化学肥料も同じだよ。

いちろー 農家も、なるべく農薬を使わないようにしているんですね。

トマジ そうだね。土作りは大変だけど楽しいよ。おいしいトマトもできるしね。

いちろー 農薬を使うときに注意していることは何ですか?

トマジ 農薬取締法で作物の種類、時期、量、回数などの使用基準が決まっているから、法律をきちんと守ること、そして記録をちゃんと付けることだな。基本は、どうしても必要な場合に、適切に使うことだ。

いちろー 昔と比べて使用基準が定められて、だいぶ良くなっているんですね。

トマジ そうだね。この30年で農薬の使用基準や残留基準を全ての農産物に決めるなど、農薬を科学的に評価して管理する仕組みが定着してきたんだ。そして、念のため出荷前に残留農薬検査もしているんだよ。いちろーくんが働いている商品検査センターでも定期的に調べているよ。

いちろー とところで、農薬を使わないと、どんなことが起こるの?

トマジ 例えば、害虫が発生すると虫食いのトマトや傷んだトマトができるわけ。これではコープの組合員さんの期待に応えることができないよね。欠品したり、販売できるトマトの量が減って値段も高くなってしまいうしね。

いちろー トマジさんのお話は分かるけど、組合員には農薬の必要性がなかなか伝わらないんじゃないの?

トマジ ぜひ畑を見に来てほしいよ! よく分かってもらえるから。コープの組合員との交流をとっても大切にしているんだよ。それがコープの産直だからね!

いちろー 産直かあ。いいですね!



農業が必要な場合に、生産者が適正に使用することが基本です。ただし、「基準内であればOK」というものでもありません。コープは環境にやさしい取り組みとして、生産者と協力しながら農薬の使用量の削減を進めています。

田んぼや畑の特徴を一番分かっているのは生産者の皆さんです。組合員にうれしい野菜や果実を届けるために、一番良い方法で育てています。コープはこのような生産者の信念と創意工夫を尊重しています。

次回は
輸入食品についてお伝えします